



忘れもの

お湯の中から

春町 北川 郡司

先日公民館からの帰り道、銭湯にひたりながら、町の中年の方に問えかけられたことがあるが、「東京で公民館の大会があつたぞうです」と「会場は、参加者は」といふ話合つてゐるうちに「そうですか、それぢやあ、修身の教科書みたいな本がばつかり集つたんですね、いや、とんでまゐりといふ否定したもの、冗談とは思われたいこの方の言葉は何んぞ取つたよいのだらう、この町で他にどれだけの人がこの言葉をもつて公民館を思つてゐるだらう。この言葉は春町において、はかれ言葉であるが、これが只単に券財においてのみ言われる言葉だのだらうか。

公民館がこの町におかれる様になつて既に八年、この開独立庁舎をもつた町の茶の間にして、ほとんと毎晩のように灯かあかあかとともされつづけて来た、二階には生花の講座が開かれてゐる下の

新 春 随 筆

本棚をおきつてゐる、もう一つの奥の部屋には文化祭に参加する團研の方々が本棚の読み合せをやつてゐる。こういった公民館の姿は決して珍しくない。よく本棚の社会教育主任に「こういった姿こそ、真の公民館だ」と。月少くとも六十回以上は利用されてゐるし、そしていろいろな講座が計画されてきたり町民運動会、敬老会、文化祭、成人式等もはやこの町の年中行事とされてゐる。ときには町の皆さんとともにハイキングにも行ったこともある。簡報「まき」も毎月一回は欠かすことなく発行されてゐる。しかし、この町の皆さんが思つてなんん公民館にお出になつてゐるだらうか。まださういふ言葉がおそらく半数以上を占めてゐるのではなからうか。

地域の住民とともに仕事を付けて来たつもりで公民館が、その地域の住民によつて「修身の教科書」的にあつてゐる、よののだからか、吾々職員の態度がそがうきつてしまつたのか、行われる行事からか、或いは又公民館の名称か、建物などからくる言葉

この反面、町の皆さんから行事のための。案内の問合せや、又ある時は「カラスの宿」について聞かれたこともある。



ズレとクセ

「新平家」を纏て帰つた妻と娘ろばんに夢中になつてゐる父親と開眼に「近代」を教養しようとする

今回はからずも本県教育長に就任する中であり、その責任の重大さを痛感しますと共に、微力ながら県教育の振興のために精進してまいりたいと存じますので、よろしく御挨拶御べんたつ下さるよう御願ひ申します。

柴田 美 稲

中すまでもなく、教育を振興させるには、何といつても第一線で働いておられる先生方や公民館の方々の奨励の御活動にまねばなりませんので、私としては皆さま方が心を傾けてお働き頂けるような環境を作ること、これが私の仕事だと考えております。

公民館の当面してゐる大の住民からつとつと公民館をないの、それに蓄積の心理表現もある母、娘との間のズレの階層——同じ事は家庭外の社会にいくらもある。金銭難に多忙な当市ではこの感が特に深いようだ。

も浄化し」などと言つても「罪と罰」を讀んでない職員の大半はさつぱり反応がない。それ所か、漱石の坊ちゃんも讀んで呉れては居ない社会学級では「山嵐の様な生もユーモアとしては通じない。理解のためのコミュニケーションは、社会教育に於て最も至難のようである。学校教育と違つて正に百花爛然、玉石混交の中の一、私とあなた」である。そんなズレの中からは地域社会のクセの課題を探り出そうとしてゐる。

一九五三年に成立した青年学級振興法による青年のための社会教育は、どうしても進展させねばならぬ高層ではあらうが、二つの対象がどの程度か一は否定的に當るもの大きい課題であらねばならぬ。町が市になつた都市文化の中心センターの椅子に腰かけ、工場だ」といふ気が、若い青年一人一人の心の底に根づいてゐるとしたら、農村生活の根柢は、絶えず危機にさらされ続けていくに違いない。又三男はどこへ行くのか。農閑期になると、出稼と日雇労働をやつて、「明日は明日の風が吹く」といふ生活を繰り返していつたら、どうなるであらうか。野良仕事と家事の二重の労働に追われながら、来る日も来る日も黙々と働かなくてはならぬではないか。

「これでよいのか」 (公民館長、燕市宣町) 社会教育主任 南 浦 桑原芳太郎

この働き続けている青年一人一人が其のたのしみと、重宝とする

キヨツとし

社会教育主事

五十嵐秀太郎

過日、十日町市青年団指導者講習会が、ある中学校で持たれた。第一日の日程を終つて、全園温泉手と云ふこの辺の名所に合宿した。晚餐の折、二十五、六の近代的な美人が、私達の話しを聴きながら、言葉もさわやかな標準語で、座に居る一同「ハツ」として、一同と申すと、県社教のI氏、十日町社会教育課長S氏、それに私、ハツとした事は私がマラツと横目で見しめて置いたし、三人が皆フエミニストであることは、その後の談話の中で充分分かつたことができた。美人と申しまずのは、このお寺の若奥様でいらつしやつた。

「わたり挨拶がすむと奥さんは、次の様な話をして、私達をキヨツとさせた。「この寺の天井に、てん一家が染くつて居りまして、ねすみでも海うのうでしょうか、時々この寺(二階の奥)のあたりまでおりに参ることがございませう。でも、とてもすばやくて仲々つかまえる所か、姿を窺うものも少いのでございませう」

それからしばらく、てんについて話が終わつた。それは奥に一大学講座会であつたが、他日にかまふことにして、X「てんをつかまえて奥様のえり巻きとして進

呈せんと欲する」こと三氏の意見は、私に一致を窺はれたこと、特筆に値する收穫であつた。

問題は何か三氏をして「ハツ」とさせ「キヨツ」とさせたかに存する。眉書の若僧が池の鯉について語つたのであれば、三氏は別にキヨツともハツともしなかつたであらう。(閉話休憩)

「黒板教育研究会」なるものを私は書いたことがない。そんな研究會をやつたら、それこそ皆がキヨツとするのであらう。然し寺小豆教育から学校教育に移行して最も大きな技術上の革新は、黒板を用ゐることではなかつたかと思はれる。先達達はブラックボードとテヨークにキヨツとして困感したものであらう。然し寺にも、否ははやらす、それぞれの勉強で黒板の使い方をこなして行つたのであらう。今それが問題にならぬのは、黒板が教育の中に定住してしまつて、問題を感じないからである。

先般の所でライブラリーの技術者更新検定の講習會を持つた。ナトコ以来苦勞して来た町村技術者私が何を教育することができようか、と思つたが私は「黒板教育がすでに問題にならぬように、限園教育だの徳島教育が云々とならなかつた時こそ、それが教育の中に定住し、地についた時ではなかつたか」と結んだ。(閉話休憩)

公民館と共に

新 津 川 瀬 秋 村

〇諸々の勤務を拓くが生業の如き日々なり活潑なく
〇次々の製作手紙、語なえて
〇短雨前線いよ迫ると手紙出つ
〇公明選挙を日に三回も語り歩
〇憂鬱にかすむ世の常ながら
〇講座終え三町地の地に果に
〇講座終え薄月の野に明日を

私はこの言葉が好きである。かたは、その資金の一部は議員への御礼やもてなしの費用になるのである。皆同じことを言つているのでないか。そういつてこそ社会教育の最も殊勝すべきところ。もの本来あるべき姿が示されて居り、はしなくとも、唯、無為又は無作意と云ふことは、向もないと云ふことではないし、本来の意味で最も積極的なあり方であると信じている。

水をさすよ

水 田 斎 藤 順 作

「第二の理由は、案定補助金の問題で、補助金には元来ヒモがつくものである。もし補助金といふものにヒモがついたら、各館の自主性独立は失われてしまつたらう。考へ直さなう、いゝのか、といふ話である。

ヒモの点とはかく、正直、私も補助金には疑問をもつて居る。現在いろいろの名目の補助金のためにどれほどの苦勞と時間が費されてゐるか。そしてそれに対しての金額がどれほどのものか、お互職員がいちばんよく知つて居る筈である。

補助金は建物の新築の時などに限り起債と共に考へて頂くことにして、その代りもつとみんさんに出して頂くことにして、常時のものは全部打ち切つてほしい。その代りそれは地方交付税の基準財政需要額の中にハッキリつたてほしい。十把一とかいふに「その他の教育費」などいわないで、チヤンと小学校費、中学校費と同列に「公民館費」として、建物の有無大小、専任職員の数などによつて決定してほしい。そしてそのことはさして難事とは思われなうのである。

実践の教育

柏 崎 市 種 附 義 博

「今日指進者層の者も一般に衆才等である程度まで毎日の新聞、ラジオ等や経済面はうに及ばず行政

社会教育が形体主義的傾向になりつゝあるとか、体系的理論に終始して居るといふ声が最近高まり、社会教育のセンターといはれる公民館の運営も地域の茶の間にいかせふんいき公民館を離し、ほんとに課題解決の民主的活動にならねばといつて社会教育畑なるものがいま魅力を失ひかけて居るようう話である。

なつたかも知れなくて、たいへん申し訳ないが、御叱正を願ひたい。正月早々、水をさすような話になつたかも知れなくて、たいへん申し訳ないが、御叱正を願ひたい。

的感覚も理解しているが、たとえれが知るのみで消化されぬ。即ち行動として持たれぬ要である。二宮徳翁は勤王を尊び分度推護による一円融金の成文隆慶の大理理に立つて民衆の真理をとりい最も民主的な仕法をもつて、手を下した領主はうに及ばず地域民をして必ず實踐せしめたのである。

去る日市に於いて尊徳翁研究の権威者佐々井信太郎先生の三日間の講演會を開催したが聴講した四、五人の左翼的な青年が熱烈自己の天分を知り厚生の歩を踏み出した頃の山のような機軸を耳にした講師の偉大な感化力は勿論であるが、二宮哲理の現世になさねばおけぬ絶大な力のあることがうかがわれる。

我々社会教育の責あるものは二宮翁の大理理の究明をなし自ら通して導くことに心をすることも肝心ではないか (社会教育課長)

生きて居れば 區 江 津 市 柳 沢 徹 隆

人間の不平と不平を吹き飛ばして満ち足り過ぎる快適な社会生活と個人生活が幻にも似て多形に面かっている。

ユートピアと極端浄土だ。夢は白黒だけで色彩の無いものだと思えられているが、さめて見る夢には何と清浄な色とりと音楽があることだろう。

つまりお風呂がなくて川水を浴び、お白粉による人工美もまた見山されず、野菜を摘んで産師として、強力な他の動物と生存を競つて、死ぬまで繰り返して来た過去、過去の生、過去の美を想像して現代人の心の糧となし得ても今の生活に幾程の寛ぎもない。

また将来の夢は余りにも美しい夢であり過ぎる。つまり現在の我々は生命のある限り現代にしがみついているより方法なく、現代に救いを求めるより外のことには許さず、救いを求めないが従つて、公民館活動とか社会教育とかその他種々の文化運動とか云われるものは、人間が現代に救いと安住とを求めようとする悲願でなろうか、そして合理的な将来への備ひつきを得ようとする努力で無かるか

現代は戦争の世紀であるらしいことは忌々しいが、決して小馬鹿にしたものでない。すぐれた美もはばらなくなる。こうして政治活

現代は戦争の世紀であるらしいことは忌々しいが、決して小馬鹿にしたものでない。すぐれた美もはばらなくなる。こうして政治活

我々に与えられた課題の第一は現存をどうと見るかと現代をどうと見るかとあらねばならない

(直江津市長)

社会教育と政治活動

両津市 本間 林三

社会教育にはその対照となる社会の認識、住民の生活理解が何よりも前提の問題とされている。それから設定される課題の解決が社会教育の方法であり、その解決への熱意が社会教育の実践の等である。然し社会の認識と云つても生活の理解と云つても、それはヨソ事として存在するのではなく、自分の問題として取り上げてこそ初めて解決の道が開けるのである。即ち自分の社会生活課題として取り上げられてこそ解決の第一歩が開けるのである。

社会の現実を常に動いている。動いている現実こそ現実である。それ故に實際に於いて「現状維持」の社会観一なりであるべきがなしい。あれは嘘である。若しそれが権衡的で現状肯定の上に立つた方向をとるならば、結局に於いて権力者(時の支配階級)の方へ流れ去るものとなる。動いている現実で脱出する前進的契機は、ひとり前進的な社会観と階級の解決以外にはあり得ない。その為には否応なしに現実の政治と対決しなければならなくなる。こうして政治活

現代は戦争の世紀であるらしいことは忌々しいが、決して小馬鹿にしたものでない。すぐれた美もはばらなくなる。こうして政治活

るのだ。然るに社会教育ではどうしたことであろう。文部省社会教育局の文章によると「教育とは政治以前のものだ」と云つて居る。又「政治は生活の全体にかかつており、それを左右する力がある」と述べつつ、その生活の実際は正面から取組まないで「政治以前」の仕事が教育であると述べて居る。それをカバリーするに教育基本法は教育の非政治性中立性をまつて居ると説明しているが、同法

は特定の政党的政治活動を禁じて居るだけである。それどころか政治的教養は尊重せよと記して居る筈だ。凡そ生活の実際の中で活動しその活動に参加してのみ生活はありまいか。實際生活に即した教養と斯くの如きものであつてこそなだしい筈である。

昔から人口に膾炙している俗謡に、こんなのが有る。「龍田川無理に渡れば紅葉が散るし、渡りにや洒かれぬ鹿の声」と。

鹿の声を聞かせたといふのが社会教育であり、その為には龍田川を渡らねばならぬのは政治活動のようである。(両津市教育委員)

現代は戦争の世紀であるらしいことは忌々しいが、決して小馬鹿にしたものでない。すぐれた美もはばらなくなる。こうして政治活

一つとして、一町内又は部落に公民館推進委員を、お願ひして動いて貰う。例えば名士の感銘深い話等は、公民館でテープコラージュに納めたものを、町内常会、部落常会の時に、持つて多くの人に聞いてやり、互に語り合うのも教養を高める一つの方法であらう。

また図書館の購入新刊書のプリントを町内の掲示板に張りつけ便宜を与え読書熱を喚起することも一つの方法でなろうか。

公民館から簡易の幻灯機に各種のスライドをつけて貸出し、町内会、部落会で、二十分貸し出し探検遊覧やその他運動に利用すること、非常に価値あることだ。住民が町内会や部落会が一つの特色し兼しみにするのも推進委員の努力率仕にしては、いかでしようか。(社会教育課長)

現代と共に

直江津市 梅山 八十二

今日の現在は明日の過去であり、原本機械時代のこの世は裏にめまぐるしい、そして私共公民館はいつも過去を遡つて居るようだ、過去に創造がない真似公民館は地域に進歩をうながす可物も無いだから私は現代を恐人として生き度いのだがいつも振られてしまう四万人の町に十人の奉仕者では疲弊するのが当りませうと考える輩だつてあるがどうして過去を過去と呼び捨てしよう。

現代は戦争の世紀であるらしいことは忌々しいが、決して小馬鹿にしたものでない。すぐれた美もはばらなくなる。こうして政治活

ている。少くとも、未来の夢を目標としてといえよう。夢は美しいが所詮夢であり現在で無い。世の中は逆になりつつあるという話を聞いた。男と女、服装だけで判らぬ位、子供と大人パチンコ遊びする大人鋭く批判する子供、そういわれれば全くそなた。学校教育はジョーイの実用主義で余りも現実化し夢が少いようだという人が有るが、社会教育は又逆に理想を夢み過ぎて居る点があるか。

早稲村の有志青年と明春からの活動について話し合った。どんなに忙しい農繁期でも月に二度や三度は集る方法もある。春から秋の終りまでこそ青年学級の学習があるのだという事になった。河に残った僅かの青年がこう考えていくれるのは嬉しいが、これは青年だけの問題でないことを地域の指導者層から考へて貰いたい。来春を迎える迄の間にこの課題を解決しておきたいものだ。問題に迫られているばかりでは能がない。

改めて出稼ぎ

青年に思う

西 土田 宗次

私は能生から糸魚川へ道勤をし、今日では土曜日の午で亭亭と一時半の汽車で帰るが能生駅に石田の海が山積みされている。私は東京瓦斯社社宛となつて居る。

現代は戦争の世紀であるらしいことは忌々しいが、決して小馬鹿にしたものでない。すぐれた美もはばらなくなる。こうして政治活

年活動」、「青年学級」というようなことが頭にひらめいて、実は「は」とした。

秋しまいで、冬支度も大方になり、そろそろ雪が舞う奥になつて、さて青年学級活動、或は青年活動の活動期がやって来た、という考え方はどこに改められているはずなのだが、青年活動の実際はなかなかこの考え方に立つて行われていない。「は」とするゆゑんである。

早稲村の有志青年と明春からの活動について話し合った。どんなに忙しい農繁期でも月に二度や三度は集る方法もある。春から秋の終りまでこそ青年学級の学習があるのだという事になった。河に残った僅かの青年がこう考えていくれるのは嬉しいが、これは青年だけの問題でないことを地域の指導者層から考へて貰いたい。来春を迎える迄の間にこの課題を解決しておきたいものだ。問題に迫られているばかりでは能がない。

壁を破るもの

新発田市 川崎 吉次

数多くの研究会や大会に行つて、ヤレ字算が足りない手が足りない、職員が恵まれぬ、層層公民館、種切れの社会教育、踊つて居る、摘採のみの社会教育、小アンマリおそい鬼さんならぬ

現代は戦争の世紀であるらしいことは忌々しいが、決して小馬鹿にしたものでない。すぐれた美もはばらなくなる。こうして政治活

会教育、骨折り損で壁におちつて居る社会教育等々の盆の物語りも随分聞かれ、また自分でも体験した。清静を傾けてやつて居る行事も見ようによつては公民館的(らしい)行事と評されるかも知れない。かくて社会教育は何処へ随分浸まされ、行けども屈めども興の細道、しかもこれからは本ほも険しい道が続き壁は十重二十重に重なる。その壁の強弱も難多で、人によつては「のれん」も壁となり、また壁へも通りつけないの自ら壁と誤認して苦しんでいる向きもある。さてこの壁を叩いたとき、人々はたは嘆息をあげるばかりでは自分自ら壁と化してしまつたらう。しかしこれらの壁はいつかは打ちこわさなければ私共は永遠前に進むことはできない。家庭に職務に社会にある壁もやがては崩れ行く運命にあり、そして崩れ去らせようとして居る大きな力があることをはつきり知らねばならぬ。故に渾然と裏気が湧き自分達の手によつて助け合ひながら行つて行く外に道がない。X「社会教育がほんとうの社会教育」になる日を期待して。

早稲村の有志青年と明春からの活動について話し合った。どんなに忙しい農繁期でも月に二度や三度は集る方法もある。春から秋の終りまでこそ青年学級の学習があるのだという事になった。河に残った僅かの青年がこう考えていくれるのは嬉しいが、これは青年だけの問題でないことを地域の指導者層から考へて貰いたい。来春を迎える迄の間にこの課題を解決しておきたいものだ。問題に迫られているばかりでは能がない。

改めて出稼ぎ

青年に思う

西 土田 宗次

私は能生から糸魚川へ道勤をし、今日では土曜日の午で亭亭と一時半の汽車で帰るが能生駅に石田の海が山積みされている。私は東京瓦斯社社宛となつて居る。

現代は戦争の世紀であるらしいことは忌々しいが、決して小馬鹿にしたものでない。すぐれた美もはばらなくなる。こうして政治活

公民館建築の機運各地に起る

十日町市の場合

準備着々進む

十日町市公民館の建設計画

十日町市では、さきに青年学級生が中心となり『公民館建設促進署名運動』を起し、中山前市長を感激させたため、予算の裏づけがなされたこととなり、建設の機運が起る。ところが予算編成期になつたため、再び早期建設の議がもち上り、建設座談会を期成同盟の結成等着手具体化へと一歩前進をみせている。最近の十日町新聞は毎号その記事を掲げ輿論の醸成に努力している。以下そのおもなところ。

建設座談会

十日町中央公民館の建設座談会は十一月八日、婦人会青年学級生等の発起で開催された。公民館の建設は旧時代すでに全町民の切望の的となつてはいたもので、いまでは市民に十日町のシンボルとして綜合文化センターがほしいとの声になつている。しかし大きな予算を食うため、今後の経過も、現状では何時の日か実現するか予想もつかぬ有様である。そこでこの日の結論として、どうして明年度予算に盛り込んで、関係団体を結集して、期成同盟をつくり、全市一丸と

委員会結成

建設準備委員会は十二月十日結成して、いよいよ具体化される運び

佐渡郡の場合

既に五〇〇〇万円が予算化

公民館博物館植物園青年会場

佐渡では、昨年の公民館費が、一人当たり一三七円でした。今年はそれが二六〇円とへつてい。ところが社会教育関係の施設の面では、ぐんと機運が沸きあつて来た。佐和田町公民館が五〇〇万円、赤泊青年会堂が二四〇万円、羽茂村植物園が三〇〇万円、佐渡博物館が二〇〇万円、小町町連福寺改修が二〇〇万円、相川町郷土博物館が二〇〇万円、一予算化をされてないもの、西津市では水族館、相川町・赤泊村では天々公民館建築の機がかけられている。

佐和田町公民館

河原田小学校は、年間四〇〇回位の集会がもたれるをうた。これ一つをみても佐和田町自身が島の公民館的立場ともいえる。こんな本員合だから以前から公民館建築の要請があつた。そのため、当然町村合併をけいごととして、公民館建設が具体化されたわけである。

建設準備

①資金の二割を同盟会できつり陳情しをえて局を動かす
②市民公債の形で(二〇万円)市が一時借りあげる
③郵政省、市中銀行より借入

委員会結成

建設準備委員会は十二月十日結成して、いよいよ具体化される運び

地帯からも出入りし易い使官を配している。各都に關係市議、事業協団代表等各々十余名の委員を挙げ、他に顧問を設け、腹案の設け図を中心しに意見を交換する等々となつてい。該案によると三ヶ年計画で、八箇×十六箇、鉄筋三階建、予算約二千万円である。掘削は現公民館の地域を利用、寺院と住宅の移転を寺院側に申請、建物は北側土土出張所に面し前庭をとり、側道路一はいに後退、市の何れの

婦人会が寄附金

十日町市婦人会では公民館の建設資金にして下さいと、九万八千八百八圓×十六箇、鉄筋三階建、予算約二千万円を教育委員会に寄附すると共に、早期建設の要請書を提出した。この金は会員が去る六月から約二箇の石けんを販売して得た利益金をそつくり寄附したものである。

考古・民俗・地質・動植物・美術・芸能・産業の七部会に分れて藏品の調査にあつてい。建物は鉄筋コンクリー二階建、五〇坪で、予算は一、五〇〇万円、二、〇〇〇万円で新潟交通から買とされ、整備並に調査費として、二〇〇万円を地元佐和田町民の他へおねがいする事になつてい。来年の六月頃までに完成を望むたいものと、うれしい計画をすすめてい。

二一町歩に及ぶ羽茂植物園

羽茂村では、露坪一四四坪、三〇〇万円の佐渡博物館の新築を計画しているが、すでに自生植物園一八町、一般植物園三町五反を經營、一般に親しまれてい。新しい建物の予算は、起債一五〇万円、村費一〇〇万円、寄附八〇万円、補助二〇万とまわっている。

鉱山資料を中心に相川町

千種遺跡の発掘、玉作遺跡の発掘、佐渡園分寺跡の調査、三千万円に及ぶ小比之遊華寺の改修、これらが図をなして、佐渡博物館が中心となつて来た。今年に入つて六月十八日結成準備会が出来、七月二日、設置委員会が発足、七月十七日、設置促進委員会が出来上つた。新潟交通その他の援助によりその財源の見直しもついたので、十月十五日建設資金にきりかえられた。目下建設はなかつた同市の文化向上に役立

新潟市 中央公民館胎動

新しく建設される新潟市庁舎の中心に、中央公民館としてのホールその他を設け、市民の文化センターにしたいとの議がもちあつてい。各小学校区毎に作られてい現在の公民館にバックボーンを入れると共に、従来市公堂、百貨店以外に催しもの、会場を持たし、千種遺跡にまつた

鉄筋コンクリー二階建二五〇坪

河原田小学校は、年間四〇〇回位の集会がもたれるをうた。これ一つをみても佐和田町自身が島の公民館的立場ともいえる。こんな本員合だから以前から公民館建築の要請があつた。そのため、当然町村合併をけいごととして、公民館建設が具体化されたわけである。

村上市の場合

公費のみに頼らないで公民館を

村上市中央公民館

昭和二十六年國村上市では婦人會館建設の議が起きていた。婦人會はその建築を必死になつて考え且つその資金を出して協賛した。石けんその他の販売もした。しかし婦人會の力のみではいけない、もつと大きな視野になつてきたと論ぜられ遂に公民館の建築にまで進展して来たこれに対する市社会教育課長小杉説次郎氏の手配は次の通り

○私は常になため役を勤めた

昭和廿五年以来、事ある毎に、時あるごとに公民館建設の要望は強かつたが、町や市のおかれては、客観的な財政状態を考へて常にその好機を待つては、ほしと云ふため役やら、あやまり役を勤めてきた。

○要望は高まり公民館長の弱腰をなじり始めた

忘れもしないが昭和廿七年、時の婦人會長から公民館建設に対する私の腹をなすねられた。然し私の機嫌は依然として着き切らなかつた。これは公民館の建物が欲しい

○単に公費のみに頼らず住民の強い支持による公民館でありたい

近頃よく云われるように住民の全員参加と各層の理解と支持による公民館でありたいと考へたので、単に公費のみに頼らず村地区住民の強い支持を頼りて頂いて、「私共のもの」「自分たちの」という熱心を感じて頂きたいとお願いしている。特に町村合併

直後の特異な環境からも、この考慮は絶対必要と考へている。然しこの期成金の力によつて百万円の寄付金を募集しようとするとは仲々並大抵のことではない。○私も遂に起つ時が来た

「こゝまで来た今日、私も遂に決意すべき秋が来たことを痛感、あらゆる住民、あらゆる団体等のお力と支援を仰ぎ、如何なる困難をも克服して、昭和三十一年度中に絶対完成の段階までこぎつけた」と思つた。

本年県内の該当者は凡そ六万人おられます。社会教育課では、週日一人式に関する調査を実施し、集計もほぼおりましたので主な所をお知らせします。但し一月十五日締め明日までに回答を得た市町村数は、一七九のうち一〇四市町村であります。

① 式の開催期日は一月十五日に実施する市町村が六〇%、冬期期間出席に他県に出ているため等の理由によつて、四月か六月に大体行われるようです。また昨年の十二月すまひやつつした所やこの正月三日にやつた所が数ヶ所ありました。

② 記念品については、九十二%の市町村が該当者におくつております。記念品の主なものは、印鑑、成人手帳(日記)、百円貯金の貯金通帳、記念稿(主に果樹)の順です。かわつた所ではセツケン、と云つたのがありました。

③ 行事としては七二%の市町村が記念講演をやり、レクリエーション

型にはまり過ぎた成人式 県社会教育課の調査報告

ヨシ(演劇、映写会、のど自まつ) 体育大会、記念撮影、座談會等が主です。比較的数字は少ないが、記念論文の発表、親子の意見交換會、健康診断、血液型証明書の交付等があります。

④ 経費を一市町村平均で見ると、郡部が二五、一六六円、市部が、九七、四八三円であり、さらに一人当たり平均で見ると、郡部が一五三円、市部が一〇三三円でありますが市部については、高田、栃尾市が該当者数不明となつておりますので、市部はもつと少なくなります。

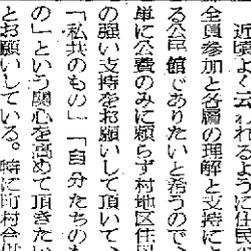
十日町市中条地区公民館では劇公演。そのあと、劇団代表と一般の代表を軸にパネル討論で相互教育を行うという方式をとつたもので、この夜は年末にもかかわらず百名以上の人が参加し熱心に討論を行った。同地区公民館では予期以上の成果をおさめたので、今後の劇団の協力を得て隨時この形式で成人講座を開きたい意向であり、各方面から大きな関心を集めている。

十日町市 中条地区公民館

演劇で成人講座

十日町市 中条地区公民館

写真説明 岩船郡山北村の荒川口公民館、部落戸数僅か30戸不足の小部落であるが3間×5間繼二階建の公民館建築はなつている。同部落の板垣一彦氏が用材を寄附し、部落民全員で建築したものの。



概して、行事は型にはまり過ぎたものが多いということです。團一時的行事でなく心から成人該当者に機会と自覚を与え、そして祝いほめますことが意識のあることで形式的な式典に終ることのないようにしたいものです。

なお、左記の市町村に、記念講演の講師として県舞師団、社会教育課から出かけて行きます。

- 大面村(南蒲) 紫雲寺町(北蒲) 新開村(中蒲) 村松町(中蒲) 味方村(西蒲) 両川村(中蒲) 長清村(北蒲) 鹿原町(東蒲) 内郷村(刈刈) 西川村(西蒲) 岩室村(西蒲) 黒崎村(西蒲) 見附市、柏崎市、新発田市、三条市、五泉市、白根町(中蒲)

大面村(南蒲) 紫雲寺町(北蒲) 新開村(中蒲) 村松町(中蒲) 味方村(西蒲) 両川村(中蒲) 長清村(北蒲) 鹿原町(東蒲) 内郷村(刈刈) 西川村(西蒲) 岩室村(西蒲) 黒崎村(西蒲) 見附市、柏崎市、新発田市、三条市、五泉市、白根町(中蒲)

大面村(南蒲) 紫雲寺町(北蒲) 新開村(中蒲) 村松町(中蒲) 味方村(西蒲) 両川村(中蒲) 長清村(北蒲) 鹿原町(東蒲) 内郷村(刈刈) 西川村(西蒲) 岩室村(西蒲) 黒崎村(西蒲) 見附市、柏崎市、新発田市、三条市、五泉市、白根町(中蒲)

衆議員文教委員会にて “公民館と新生活運動”

全国公民館大会で、講師として放送討論に出席された社
会党の辻原弘氏は、十月十四日の衆院文教委員会におい
て、大目とわり合つてゐるので、その要旨をのべる。

辻原弘氏(社) 新生活運
動については、その後の文部省の考
え方、指導方針はどうなつてゐる
か。あるいは補助金の使途はどう
か。

一 おう協会ができて五千万円の
使ひ方はまかせた形のようにが國
民の間には何ら意欲の盛上りがみ
られない。その片りんもつかえない。
この間公民館代表の人も話し
たがこれも議論が出た。一時
社会教育の重要なものとして公民
館に力を入れた。今年は公民館の
予算を削つて新生活運動に金を出
す。

そしてキャンペーン何かにも金が出
る。社会教育のどこに力を入れて
いるのか。新生活運動を生活改善
運動としてとらえるか、教育運動
としてとらえるか、まづぼつつか
めない。

文相 政府としては指導はし
ない方針だ。かつて憲法体制の上
で下達になる危険はさけない。私
どもは国民の盛り上げる運動を期待
してゐる。すでに理事会の組織が

長に菅野君が当ることになつて、
今その運用をみる途中にある。し
ばらくかすに時をもつてしてい
たい。この間總會のときに公
民館の代表者の意見もきいた。私
どもは、公民館運動というものは
一面は社会の生活の問題に際する
もう一つはやはり一つの社会運動
と解してゐるので、生活の問題以
上のものもあつては含まれてお
り、公民館運動がすべて社会生活
改善運動であるといつてはと
い。ともに協力してゐること
も考へてゐるわけだ。公民館運動
について冷淡だといふようなこと
を承るが、私どもは決してそうで
はない。正しい公民館運動はこれ
を一つの社会教育の面から見たら
意識のあるものでない。これを助
長するにやぶさかでない。しかし
それは新生活運動とは立場を異に
するものだから、これを御承知
がたい。

辻原氏 新生活運動に政府が
政府の指導を排するのは結構だ。
そのための協会の委員の顔ぶれを
みると例によつて有名で二人で
二〇、三〇の委員をかねてゐる人
もいる。そこできめられたものが
下部へおろされるわけだが、地方
でどう展開するかという、界は
当局が、町村では町村当局が母体
となつて運動に当る。そう思つて
待ちうけてゐる。

この出発の問題として大臣は社
会教育と新生活運動を区別してい
るが私はそれは考えない。それは
何らかの地域におけるさういふ教
育活動と結びつけ、それを母体に
して新生活運動にたいする一つの
意欲、住民の関心を沸かせるよ
うにし、これに國が経済的援助を
与へることにすべきと思つて

指導の中心が行政當局といつて
とに今はあはれはらずしてゆく
と思つて。もう少し民間の仕方を模
倣に考へねばならぬ。また五千万
円の金も地方では機械にいわは会
合の素菓子代に消えてしまつて思
つてゐる。

文相 運動は今のお話のよう
に進んでゐるわけだ。
あなたは私の代弁をしてくれた
まうなものだ。補助金についても
政府の助成はともかく民間の金で
やううではないかといふ空気が出
てゐる。

爲政者よ公民館を認識せよ

参 考 資 料

① 基礎理念
新生活運動は国民の生活を明
くし、民主的な新しい家づく
りつくり、國つくりの基礎と
なるべき運動である。

② 新生活運動は、個人と地域と
職域とを問わず総合的有機的
継続的に行われる運動である。

③ 新生活運動は、単に生活様式
の改善に止まらず、物心両面に
わたる生活体制の刷新を目的と
する運動である。

④ 新生活運動は、単に生活様式
の改善に止まらず、物心両面に
わたる生活体制の刷新を目的と
する運動である。

⑤ 一、進め方
イ、個人の場合
自分から始めて人に及ぼしまし
よ。

⑥ 一、お互いの生活をみつめ、そ
れについて考えましよう。

⑦ 二、生活を記録して研究しまし
ましよう。

⑧ 三、良いと思つたことから実行
しましよう。

新生活運動の基礎理念並びに 実践項目とその進め方

新生活運動協会より

① 考えるための資料をつくり
徹しを明きま。

② 実践のためのお手伝いを致
します。

③ この運動をすすめる上で必
要な調査研究をし、又運動の
実情を紹介し連絡をはかりま
す。

め全国的な気運を醸成しま
す。

実践のための当面の
研究課題

個人及び地域、職域団体にお
いて、この運動を進めるために当面
する問題として現在までの各方面
の意見をつぎのようにとりま
ました。お互いの研究課題として
提示します。

なほ本協会としては、これらの
諸問題については、研究を要する
点があると思われますので、ひろ
く皆さんとともに検討したいと思
います。

- 一、新しい道徳運動の展開
- △人権の尊重
- △公共精神の涵養(社会習慣、
交通道徳、防災風俗の普及等)
- △祖国愛人愛郷の高揚
- △道徳精神の徹底
- △勤労精神の高揚
- △助けあい運動の奨励
- △清潔概念の涵養
- △社会生活環境と習俗の
刷新
- △両面励行
- △保徳衛生の向上
- △習俗の改革、迷信、因習の打
破
- △冠婚葬祭の簡素化
- △掃墓不掃墓の返礼禁止
- △虚礼の廃止
- △旧慣行の是正
- △有害な出版物、映画等の排除
- △風俗文化財の推奨
- △健全風俗の推奨(良の生活化)

- △家族計画の促進(受胎調節、
墮胎防止)
- △家計の合理化(電帳生活)
- △元服節約と貯蓄奨励
- △衣食生活の工夫と改良
- △食生活と栄養の改善
- △新生活の合理化
- △余暇の善用
- 一、婦人及び青少年地位向
上
- △婦人青少年の自主性の尊重
- △婦人青少年の社会的保護と育
成
- △家庭婦人の地位の向上(教養
と休養)
- △青少年不良化原因の除去
- △児童遊園の尊重
- △二人一研習の奨励
- △純潔運動の推進
- △情操教育の推進
- 一、生産性の向上と経済生
活の安定
- △産業の公益的、社会的意識の
高揚
- △経営の合理化(商工農漁業)
- △国産品の愛用
- △生産技術の向上教育

- △要会の廃止
- △奢侈の明麗化
- △元服の絶滅
- △遊離結婚の撲滅
- △職場生活の健全明朗化
- △福を植える運動の推進
- 一、家庭生活の科学化合理
化
- △家族計画の促進(受胎調節、
墮胎防止)
- △家計の合理化(電帳生活)
- △元服節約と貯蓄奨励
- △衣食生活の工夫と改良
- △食生活と栄養の改善
- △新生活の合理化
- △余暇の善用
- 一、婦人及び青少年地位向
上
- △婦人青少年の自主性の尊重
- △婦人青少年の社会的保護と育
成
- △家庭婦人の地位の向上(教養
と休養)
- △青少年不良化原因の除去
- △児童遊園の尊重
- △二人一研習の奨励
- △純潔運動の推進
- △情操教育の推進
- 一、生産性の向上と経済生
活の安定
- △産業の公益的、社会的意識の
高揚
- △経営の合理化(商工農漁業)
- △国産品の愛用
- △生産技術の向上教育